

職員の危機管理研修会

5月12日（水）

日本赤十字社石川県支部指導員の方をお招きし、職員向けの危機管理研修会を行いました。

心肺蘇生法を学ぶ前に、指導員の方からは、

石川県では、救急車を要請してから

到着するまでに平均7.3分（全国平均8.6分）かかる

ということや、

生存退院率は1分毎に10%低下する というお話を伺いました。

体育館で密にならないよう距離をとり、

換気をしつつ、行いました！



コロナ禍の今、心肺蘇生について大切なこと

現在はコロナ禍なので、

- ・反応の確認、呼吸の確認の際は **近づきすぎず距離を保つこと**
- ・傷病者の口や鼻に **マスクやハンカチをかけ、感染予防をすること**

も教えていただきました。



代表して2名の教職員が
心肺蘇生を行いました。

研修後、先生方からは「やはり対面で研修できて良かった」「毎年できると安心する」といった声が聞かれました。